

研修名	精神保健福祉実務者研修Ⅱ 「精神科治療を効果的にすすめるために」
講師	小倉記念病院 緩和ケア・精神科 部長 三木 浩司 氏
開催日時	平成 28 年 1 2 月 1 5 日 (木) 18:30~20:30
開催場所	北九州市総合保健福祉センター (アシスト 21) 2 階講堂
参加者数	81 名 (内訳: ケースワーカー、保健師、看護師、精神保健福祉士、臨床心理士、相談員、支援員、教諭など)
研修の 内容等	<p>精神保健福祉業務に携わっている方を対象に、支援に必要な最新の知識・技術・視点等について学び、相談支援技術の向上を図ることを目的に開催した。</p> <p>統合失調症やうつ病を中心に、症状や薬との付き合い方、自分でケアするための対処法を知っておくことが大切であるといったことなどについて学んだ。</p> 
参加者の声	<ul style="list-style-type: none"> ・薬以外の養生について色々あるという視点が学べて良かった。 ・患者さんが生きてきた背景を知ること、その人を尊重する態度が生まれるとの指摘は本当にそのとおりだと思う。意識して実践していきたい。 ・原因を探すのではなく、良いもの・役に立つものを探すことが大切ということに、ハッとしました。 ・良い所やできていることに着目して、どうすれば良くなるかを一緒に考えていける支援者になりたいと思った。 ・患者さんとの間に良い関係をつくる、または治療効果を上げるための対人援助の技法がたくさん学べて勉強になった。 ・質疑応答が具体的で特にわかりやすかった。 ・もっと話を聞きたいと思った。こちらの気持ちが軽くなるような内容だった。 ・支援者が心の余裕をもって支援することの大切さを学んだ。自分自身もゆるやかに余裕を持って支援にあたりたいなと感じた。 ・仕事だけでなく、日常生活の上でもとても参考になった。 など